

2 にぎわう上市

変化と継承へのチャレンジで“にぎわう”産業・基盤

にぎわう 1 産業

1-1 農林業の振興



現状と課題

- 農林業を持続的に発展させていくためには、担い手の確保と未来技術の活用や農地集積・農業基盤の整備等により、効率的な生産体制を構築する必要があります。本町では耕地面積を経営できる限界まで拡大している認定農業者が多いため、担い手への集積が頭打ちの状況となっています。更なる農業者や集落営農組織・農事組合法人等の育成と新規就農者の受け入れ体制の充実が必要です。
- 林業では、水と緑の森づくり事業において、地域住民が下刈り等の作業に従事しており、林地荒廃による災害の防止の観点から継続的な支援を行う必要があります。また、有害鳥獣による農林産物への被害は深刻な問題であり、個体数は増加傾向にあることから対策が必要です。

ミライの 上市



持続可能な生産性の高い農林業が展開され、各産出物の販路が拡大されています。

数値目標

指標	基準値	目標値
50 歳未満の新規就農者数【総合戦略】	1 人 (R 2)	5 人 (R 3～R 7)
6 次産業化を行っている事業者数	0 社	2 社 (R 3～R 7)
農産物の販路拡大に取り組む事業者数	0 社	2 社 (R 3～R 7)
スマート農業に取り組む農業の担い手者数	1 経営体	5 経営体 (R 3～R 7)

指標	基準値	目標値
学校給食での地元食材利用率【総合戦略】	15.2%	18.0%
間伐の実施面積	315ha	345ha
鳥獣害による被害の軽減（イノシシ）		
被害面積	4.9ha	3.43ha
被害量	26.4 t	18.5 t
被害金額	519.7 万円	363.8 万円

施策の内容

<p>1-1-1 担い手の確保・支援</p>  <p>にぎわう上市 ウ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域内の農業者だけでなく、U I J ターンによる町外も含めて地域外の人材など多様な農業及び食育の担い手の確保を推進するとともに、農業技術の習得のための支援や、研修を希望される方を高収益作物栽培や有機農法の活用などに取り組む先進農家へ紹介するなど、持続可能な担い手の育成に取り組みます。 ○ 農産特産物のブランド化を推進し担い手の所得向上を図るとともに、里芋など上市ブランドの安定生産を支援します。 ★ 新規就農希望者と農業法人等とのマッチングや就農促進に向けた取組を支援し、地域農業の次世代を担う人材の確保・育成を図るとともに、円滑な経営継承を支援します。 ★ 森林施業の従事者や、集約化・低コスト化を担う施業プランナー、現場管理責任者等の人材の確保と育成を図ります。
<p>1-1-2 生産性向上に向けた取組</p>  <p>にぎわう上市 イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 農業生産を更に向上させ、競争力を強化するため、農地の集積・集約化や、ロボット技術、I C T等の先端技術を活用したスマート農業の導入などにより生産性の向上を支援します。 ○ 持続的で効率的な林業経営に欠かせない林道や林業専用道及び森林作業道の整備を推進するとともに、高性能機械の導入を推進します。
<p>1-1-3 森林資源の保全と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林の状態や立地条件、地域ニーズ等を反映した森づくりを基本としつつ、木材生産の増大に向け、森林施業の集約化を進めます。 ○ 水源の涵養や地球温暖化の防止などを図るため、間伐、枝打、下刈り等を適切に進め、健全な森林環境の整備を推進します。 ★ 森林環境譲与税を財源とした間伐や路網等の森林整備のほか、搬出材の有効活用に努めます。
<p>1-1-4 有害鳥獣対策への支援の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有害鳥獣の駆除を担う人材の育成・確保に努めます。 ○ 上市町鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の捕獲に努めます。 ○ 鳥獣による被害を受けた集落に対し、町有害鳥獣対策協議会からの技術的・経済的支援を行います。

主な取組

- 農業生産基盤整備事業
- 農業経営体支援事業
- 多面的機能支払事業
- 優良農地確保事業
- 森林環境整備事業
- 林業担い手及び事業体の育成
- グリーンツーリズム事業
- 農産特産物振興事業
- 中山間地域活性化事業
- 食育・地産地消奨励事業
- 林道・作業道整備事業
- 水と緑の森づくり事業
- 有害鳥獣対策事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 地元で生産されたものを消費するほか、地元産の魅力を町外へ発信します。
- 農業や農地・森林の保全に対する意識を養います。

【地域・団体・事業者等】

- 農地・森林の保全や、未来技術の活用による作業の効率化、担い手の確保と育成、有害鳥獣対策を行うなど、地域の農地・森林は地域で守ることに努めます。
- 生産者・消費者・加工業者・流通業者・販売業者の連携による6次産業の振興を図ります。

関連する計画・条例等

- 上市町森づくりプラン
- 上市町鳥獣被害防止計画
- 人・農地プラン（実質化された人・農地プラン）



ドローンによる農薬散布



植樹活動

1-2 商工業の振興



現状と課題

- 人材確保・育成に関して「はたらくらすコネクション事業」や「コーチング事業」が一定の役割を果たしてきたところであり、町内事業所への雇用が増えるよう、今後更なる取組が必要となっています。
- 本町には、従来からの繊維、医薬品関連企業、また、積極的な企業誘致による製造業等の企業が多く立地しています。建設業については、公共事業や住宅需要の動向に左右されるところがあり、既存業者の事業拡大と異業種との兼業等の支援が必要となっています。商業・サービス業は、価格、品揃え、サービスに関する競争が激しく、他市町村への購買力の流出が見られるなか、まちなか交流プラザ（カミール）の魅力向上策、女性に特化した起業支援、特産品開発の支援等を行ってきました。今後、上市スマートインターチェンジの整備に伴い、流通網の充実が期待できることから、企業誘致や創業支援、空き店舗の活用等更なる商工業振興策が求められます。

ミライの 上市

経営基盤の強化により競争力が高まり、各事業者がまちのにぎわいや地域活力を生み出しています。




数値目標

指標	基準値	目標値
事業承継支援の件数	1 件	10 件 (R 3～R 7)
誘致企業数	1 件	5 件 (R 3～R 7)
創業件数【総合戦略】	30 件 (H27～R元)	35 件 (R 3～R 7)

施策の内容

1-2-1 勤労環境の向上

- 移住・定住策も含めて町内の企業や雇用を紹介する事業を推進します。
- 町内の事業所における就労状況の把握に努めるとともに、関係機関と協力しながら、適正な就労条件の確保や就労環境の向上を働きかけます。

	<p>★ 仕事と子育て、仕事と介護等の両立を支援するため、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の両立）、育児休業や介護休業等について、事業所や町民に広く啓発を行います。</p> <p>★ 発達障害者を含む障害者の労働について理解が深まるよう、事業所や町民に広く啓発を行います。</p>
<p>1-2-2 経営基盤への支援</p>  <p>にぎわう上市 ウ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<p>○ 町内事業者に対し、経営の後方支援を行うため、商工会と連携して引き続き各種助成制度の創設や活用の促進により、人材育成、設備投資等を支援します。</p> <p>○ 町内事業者に対し、事業承継を後押しする補助制度による支援を行います。</p> <p>★ 関係機関と連携して、災害や感染症拡大等の非常時に対応した、事業所の事業継続計画（BCP）の策定を支援します。</p>
<p>1-2-3 起業への支援と企業誘致</p>  <p>にぎわう上市 ウエ</p>	<p>○ 町内で起業をチャレンジする方を支援し、まちのにぎわいにつなげます。</p> <p>★ 既存の枠を超えた新しい地域産業を創発するため、町の地域資源を生かし、産学官金労言士連携と産業間の連携強化、最新技術の社会実装に取り組むことにより、新事業の創出や販路拡大を支援します。</p> <p>★ 上市スマートインターチェンジの開業を契機とした企業誘致を推進し、新しい働く場を創出します。</p>
<p>1-2-4 商業・サービス業の魅力向上</p>  <p>にぎわう上市 イ</p>	<p>○ 町内の商店・サービスへの利用促進を図るため、買い物支援や商品開発、販路拡大の取組を支援します。</p> <p>○ まちなか交流プラザ（カミール）について、テナント入居者対策や子育て支援機能の充実等で魅力向上を図り、町中心部のにぎわいにつなげます。</p>

主な取組

- 人材育成事業
- 創業支援事業
- 企業立地奨励事業
- 特産品開発支援事業
- 工業団地造成事業
- 中小企業融資制度等の拡充
- 事業承継の支援
- 本社機能立地支援事業
- まちなか交流プラザ（カミール）の魅力向上
- はたらくらすコネクション推進事業



町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 日々の暮らしにおいて、地元の商店、飲食店での消費を心掛けます。

【地域・団体・事業者等】

- 商工会・金融機関等は、関係機関・団体と連携しながら、地元事業者の経営改善及び起業の支援を行います。
- 女性の働く場の確保等、事業者や関係機関と連携し女性の活躍する社会の実現に向けた取組を行います。
- 学校は、事業者と連携して社会見学・14歳の挑戦等のキャリア教育を推進し、地域の次代を担う人材育成に協力します。



市姫さんど



はたらくらすコネクション



みやげ処「味蔵」



現状と課題

- 観光・交流では、町の宝である自然・歴史・伝統文化・産業を見つめなおし、町民や上市町に関わるすべての人々を大きなわ（輪、和、環）でつなぐという「上市まちのわ宣言」に基づいて、観光資源の開発、情報発信と誘客、観光・交流しやすい環境の整備・充実等の取組を進めてきました。特に、本町出身のアニメーション映画監督である細田守氏の作品「おおかみこどもの雨と雪」の舞台のモデルとなった「花の家」を管理する団体への支援、国認定の「上市町エコツーリズム推進全体構想」の展開、フォトロゲイニング大会や、町出身首都圏在住者のコミュニティづくりの支援など、数多くの魅力づくりに取り組んできました。今後、「上市ファン」となる交流人口、関係人口の創出に向けて、本町の魅力を磨き上げ、新たな生活様式に配慮をしつつ、更なる取組が必要です。

ミライの上市

訪問者が「行ってみたい」「来てよかった、また来たい」と思える魅力的な地域資源があり、町民との温かな交流が行われています。

数値目標

指標	基準値	目標値
年間観光入込客数	583,277 人	10%増 (R 3～R 7)
町内ガイドツアーの参加者数	1,568 人	10%増 (R 3～R 7)

施策の内容

1 - 3 - 1

観光情報の発信

- 観光推進の中心となる町観光協会とともに、町民や訪問者が町の魅力に気づき、広めてくれる上市ファンを増やすため、継続的に観光資源の魅力発信に努め、リピーターを含めた交流人口、関係人口の拡大に努めます。
- マスコミや冊子、SNS、町民・本町訪問経験者からの口コミ、観光大使や町出身首都圏在住者からの情報発信等多様な手段による情報発信に取り組みます。

1-3-2

上市ブランドの構築



にぎわう上市 イ

©2012 W.C.F.P

★ 富山福祉短期大学などと連携し、本町が「おおかみこどもの雨と雪」の舞台モデルのまちであることを活かしたブランドの構築を図ります。

★ 大岩山日石寺、馬場島や森林セラピー、劔岳の氷河、立山黒部ジオパーク等の既存の観光資源について、再整備や新たな視点での活用により魅力を高めていきます。

○ 新たな観光資源に対して、案内板や周辺道路の整備・修繕、周辺環境整備等を行います。

1-3-3

受け入れ体制の強化



にぎわう上市 エ

○ 継続的に公共交通機関と連携して、二次交通の利便性向上に努めるとともに、イベント時における富山地方鉄道との連携を行います。

○ 町民が町の魅力を発信する「ふるさとガイド」の育成を推進します。

★ 感染症拡大防止のため、施設設備やサービスの提供体制の改善を行うなど、安心して本町を訪問していただける体制を整備します。

○ 町民と参加者が一緒に楽しみ、盛り上げていくイベントを開催していきます。

★ 町の資源を楽しみながら仕事をするワーケーションができる場所を提供します。

○ 町外の大学、企業等が行う合宿、研修等を誘致し、交流人口、関係人口の拡大に努めます。

主な取組

- エコツーリズム推進事業
- 森林セラピー推進事業
- 公共交通の連携事業
- ふるさとガイド育成事業
- 同級会支援事業（R4事業完了）
- かくれた魅力発掘及び発信事業
- まちの未来創造事業（R4事業完了）
- 自然観光資源活用事業（フォトロゲイニング大会運営事業）
- 富山福祉短期大学連携事業
- 町民参加型のイベント開催
- 観光客向け二次交通整備事業
- 観光協会機能強化事業
- 大学、企業等の合宿、研修等誘致事業
- 宿泊・滞在機能強化事業
- 交流人口拡大環境整備支援事業
- ワーケーションの推進
- 「おおかみこどもの雨と雪」上映10周年記念事業



フォトロゲイニング大会

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 自分の住むまちに誇りを持ち、上市町を積極的にPRするほか、おもてなしの心で観光客に積極的に接します。

【地域・団体・事業者等】

- 美しい自然や町並みの景観保全や環境美化を、地域ぐるみで行います。
- 地域の祭りやイベントを開催し、多くの人が交流できる環境をつくれます。
- 飲食店、観光施設で外国人観光客を受け入れる体制を充実させます。

関連する計画・条例等

- 上市町エコツーリズム推進全体構想
- 大岩まちの未来創造モデル事業実施計画



榎並木



富山福祉短大との連携事業

にぎわう2 基盤整備

2-1 移住・定住支援の強化



現状と課題

- 本町では、移住・定住の促進のため、町内事業所に通勤している若年従業員の町内民間賃貸住宅への転居に際し、住民登録すると給付金を交付しているほか、町内での三世代同居による「孫育て参加」の奨励、移住希望者が本町での暮らしぶりを体験できる「上市暮らし体験住宅」の提供、若年世帯における住宅の新築・購入費用と新築に併せた太陽光発電装置等の設置に対する一部補助を行ってきました。しかし、移住・定住者は伸びず、人口も減少傾向となっています。転入希望者の子育て支援、教育、医療、福祉等に対する総合的な判断により本町が選ばれるよう、引き続き多様な施策の展開が求められます。

ミライの 上市

移住希望者が充実した移住支援、結婚・生活支援を受けることにより「移り住んでよかった」と実感しています。



数値目標

指標	基準値	目標値
移住施策を活用した県外からの移住件数	19 件 (H27～R 元)	30 件 (R 3～R 7)
若年世帯定住促進事業補助金申請者数	23 人	125 人 (R 3～R 7)
結婚相談所での成婚数	37 組 (H27～R 元)	40 組 (R 3～R 7)
婚活イベントマッチング数	63 組 (H27～R 元)	65 組 (R 3～R 7)



上市町首都圏同窓会作成動画
「オンライン帰省どうけ？」の映像一コマ

施策の内容

<p>2-1-1 移住・定住促進への支援</p>  <p>つながる上市 ア にぎわう上市 エ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、移住PRイベントや交流事業等において、空き地・空き家・雇用・生活に関する情報提供・相談事業を行うほか、本町での暮らしの体験等を積極的に行い、町内居住の推進を図ります。 ○ 共働き・子育て世代をターゲットとし、転居の際に本町を候補として考えてもらい、実際に転入してもらえるよう、情報発信の強化や、空き地・空き家等の需要に応じた利活用と、行政サービスを創出していきます。 ★ 事業者と連携しながら、空き家を活用したサテライトオフィスの誘致を推進し、大都市圏からのワーケーションや感染症対策を兼ねた移住・定住を促進します。 ★ 首都圏在住の上市町出身者らによるコミュニティ「上市町首都圏同窓会」による情報発信等を支援し、首都圏における町を応援する人口の維持・拡大を図ります。
<p>2-1-2 結婚支援</p>  <p>つながる上市 ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 未婚化・晩婚化の改善、移住・定住の促進のため、事業者とも連携しながら、未婚の男女が結婚相手に出会う機会を拡充します。 ○ 結婚相談所における窓口相談やお見合いのセッティング、結婚までのサポートを継続して実施します。 ○ 婚活イベントを継続して実施します。

主な取組

- 定住情報発信事業
- 民間住宅団地造成事業
- 住宅リフォーム助成事業
- 地域おこし協力隊事業
- 地域ぐるみ移住・定住者支援の推進
- 結婚支援事業
- サテライトオフィス誘致事業
- 若年世帯定住促進事業
- 空き家情報提供事業
- 移住・定住情報発信・支援体制強化事業
- 同級会支援事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 移住者に対して、あいさつや声掛けなど、地域の一員として温かく迎えます。
- 移住者は、地域活動などに積極的にに関わり、地域住民として進んでとけ込むよう努めます。

【地域・団体・事業者等】

- 移住者に対する移住前・移住後の相談や情報提供、地域の中でのつながりづくりなどのサポートをきめ細かく継続的に実施します。
- 町内会、事業者、学校等が連携して、上市町での暮らしや環境のよさを情報発信していきます。
- 事業者は、UIJターンにつながる面接相談会の開催・情報提供を積極的に行います。

2-2 生活環境の充実



現状と課題

- 住宅については、これまでに町営住宅の整備と適正な維持管理に努めているほか、空家バンクの運営により移住・定住策を進めており、引き続き良好な住宅の確保に努める必要があります。
- 町内にある公園は、町内会と行政で分担して管理を行っており、利用にあたってのマナーを呼び掛けながら、地域ぐるみで管理に努めることが大切です。
- 水道は、主要施設である眼目配水場、丸山配水場の耐震化を実施したほか、老朽管対策として、漏水等が頻発している配水管の布設替えを行うとともに、令和元年度に策定した配水管更新計画に基づき、優先度の高い配水管を計画的に更新し水道水の安定供給を図る必要があります。
- 下水道は、管渠や浄化施設などの整備が一段落しており、今後は効率的な運営と維持管理が必要となります。
- 斎場や墓地については、今後も適正な維持管理に努めていく必要があります。

ミライの
上市

住居、公園、上・下水道、墓地・斎場に関する事業が着実に推進され、安全・快適な生活環境が保障されています。

数値目標

指標	基準値	目標値
空家バンク登録件数	5 件	30 件 (R 3 ～R 7)
水道の有収率	82.6%	85.0%




円筒分水槽（釈泉寺）

個別施策

2

施策の内容

<p>2-2-1 良好な住環境の確保</p>  <p>にぎわう上市 エ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町営住宅については、適切な維持管理に努めます。また、家賃の低廉化や子育て世帯に配慮した環境づくりに努めるなど、利用しやすい住宅を目指します。 ○ 民間住宅については、環境に配慮した省エネ設備、耐震診断や耐震構造等の安全・安心な住まいづくりを働きかけます。 ★ 適切に管理できていない空き家等が町民生活に影響を及ぼすことがないように、空家等対策計画に基づき、空き家情報の提供や必要な措置が適切に講じられるよう努めていきます。 ○ 土地財産の適正な管理を促し、その有効活用を図るため、地籍調査事業に取り組みます。
<p>2-2-2 公園緑地の保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子高齢化社会への対応、安全・安心なまちづくり、環境共生型社会の推進などを考慮しながら、市街地における公園緑地の機能強化を図ります。 ○ 適切な維持管理、修繕及び更新に取り組み、都市にうるおいを与え、町民の健康づくりなどに寄与する緑豊かなまちづくりを推進します。 ○ 町民・行政の協力による公園管理体制により、継続的な公園緑地の保全に努めます。
<p>2-2-3 水道事業の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 配水管更新計画に基づき、優先度の高い配水管を計画的に更新し水道水の安定供給を図ります。 ○ 広報やホームページ、チラシ等を用いて、漏水確認や冬期の凍結防止を呼び掛けていきます。 ○ 私有地の水道管理に対する意識の向上に努め、不明水量を減らし水道水の安定供給を図ります。
<p>2-2-4 下水道の維持管理の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公営企業会計やストックマネジメント計画に基づく経営により、安定した汚水処理の実施に努めます。 ○ 下水道の適正使用に関する啓発活動を推進します。
<p>2-2-5 斎場・墓地公園の適切な維持管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 斎場・墓地公園の適切な管理に努めるとともに、墓地公園の拡張を図ります。

主な取組

- 空家等の利活用促進
- 公園維持管理事業
- 下水道事業
- 斎場維持管理事業
- 地籍調査事業
- 水道事業
- 地下水保全事業
- 墓地公園等管理・整備事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 公園などの施設を利用する際は、ルールを守り大切に使います。
- 一人ひとりが節水意識を持つとともに、漏水等の可能性がある箇所を発見した場合は町に連絡します。
- 防犯に対するパンフレットや防犯啓発番組などを見て知識を得ます。

【地域・団体・事業者等】

- 地域で定期的に清掃やごみ拾い、草刈り等美化活動を行うほか、把握した空き家の情報を提供します。
- 地域内にある公園の維持管理を行います。
- 子どもの登下校時の見守りや声掛けを行うほか、地域の見守りにより不審者などへの対策を行います。

関連する計画・条例等

- 上市町都市計画マスタープラン
- 上市町空き家等対策計画



あさひの郷公園



丸山総合公園



現状と課題

- 道路に関しては、上市スマートインターチェンジが開通し、地域産業の活性化や町民生活の利便性向上が期待されています。今後は、整備効果や重要性を考慮しながらの道路整備、将来人口の見込みや財政負担等を考慮した橋梁等の集約化の検討が必要です。
- 町営バスについては、利用者ニーズへの対応、路線、便数、富山地方鉄道との接続等について調査と検証を行い、再編実証運行を経て本格運行に移行し、更なる利便性向上と公共交通の維持に取り組んでいます。今後、少子高齢化や自動車運転免許返納者の増加が想定されますが、スクールバス機能の維持と高齢者をはじめとした交通弱者等の日常生活における移動手段の確保のため、町内公共交通機関相互のネットワークを維持・改善していくことが重要です。

ミライの 上市

道路網の充実と地域公共交通の充実、交通安全対策により、日常生活における移動の利便性と安全性が高まっています。


数値目標

指標	基準値	目標値
橋梁維持修繕数	—	10 橋 (R 3～R 7)
町営バス利用者数【総合戦略】	38,082 人	39,000 人
鉄道利用者数	1,373 人／日	1,400 人／日
富山県・町イベントと公共交通利用促進の連携件数	3 件	25 件 (R 3～R 7)



上市駅での古本市

施策の内容

<p>2-3-1 道路網の整備・維持管理</p>	<p>★ 上市スマートインターチェンジ、富山地方鉄道の駅などの交通結節点や公共施設へのアクセス道路、隣接市町村への連絡道路等、整備効果や重要性を考慮して、整備が必要な路線の選定を行い、整備していきます。</p> <p>○ 自動車や歩行者などの安全で円滑な交通を確保するため、交通安全施設の整備・設置、老朽化が進む消雪施設等の更新を進めるとともに、長寿命化計画に基づき順次、橋梁の改修・耐震化を図ります。</p>
<p>2-3-2 持続可能な公共交通体系の構築</p>  <p>にぎわう上市 エ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<p>○ 町民や訪問者に広く公共交通機関の利用促進を図るとともに、北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道の連携を推進し、鉄道利用者の利用促進を図ります。</p> <p>★ 町営バスについては、利用者のニーズを把握しながら、必要に応じて実態調査や、調査結果や最新技術の動向に基づく改善策を実施していきます。</p>

主な取組

- 道路整備・改良事業
- 橋梁長寿命化修繕事業
- 除雪・消雪対策事業
- 鉄道施設総合安全対策事業
- 北陸新幹線・富山地方鉄道・あいの風とやま鉄道との連携
- 富山地方鉄道上市町内4駅周辺のにぎわい創出
- 町営バス運行事業
- アルプス縦貫トンネル整備に向けた取組

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 道路の異常個所を見つけたら通報します。
- 地域の交通は自らが主体となって守る意識を持ち、町営バスや予約のりあいバス、富山地方鉄道等の公共交通を積極的に利用します。

【地域・団体・事業者等】

- 地域の中の移動手段を持たない町民の把握を行い、公共交通の利用の声掛けを行います。

関連する計画・条例等

- 上市町地域公共交通網形成計画



現状と課題

- 町民の自然環境への意識を高め、町ぐるみで地球温暖化対策やエネルギーの有効活用、ごみ削減等に取り組むことが大切です。本町は剣岳をはじめとする豊かな山や森、水といった自然環境に恵まれており、環境を保全する意識の向上と環境配慮行動及び美化活動を継続的に促すことが大切です。ごみの量については減少傾向にあるものの、リサイクル率が横ばいであることから、引き続きごみの削減について啓発していく必要があります。また、事業所や農家への公害の未然防止、エネルギー施策の推進が必要です。

ミライの 上市

美しいまちを次代に引き継げるよう、地球温暖化対策、環境の保全のために、町民一人ひとりができることを実践しています。

数値目標

指標	基準値	目標値
家庭ごみの年間排出量	5,810 t	5,700 t 以下
ごみのリサイクル率	21.4%	23%以上
温室効果ガスの削減率	1.9%減 (H28 比)	4.0%減 (H28 比)

施策の内容

2 - 4 - 1 自然環境の保全

- 生活に欠かせない水環境・水循環については、現在の河川環境を維持し、上下水道の普及整備を促進し、水質調査を継続しながら良質な環境維持に努めます。
- 農地や人工林などの里地里山は、持続可能な農林業を展開することで環境保全を図ります。
- 生物の多様性については、有害鳥獣への適切な対策を図りながら、地域固有の生態系の保全を推進します。
- 豊かな自然環境を後世に引き継ぐため、エコツーリズムの推進を図るほか、地域資源の価値を広く伝え、地域社会の活性化を目指します。



<p>2-4-2 ごみの減量化・資源化・適切な処理の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ごみ減量化とリサイクル率の向上に努めるとともに、日常生活や事業活動におけるごみ減量の啓発を行い、ごみ分別を推進します。 ★ 事業者への食品リサイクルや食品廃棄物の飼料化の啓発、教育機関における食べきり運動などの啓発活動を推進します。 ○ 役場におけるグリーン購入を推進し、環境負荷の少ない製品を活用していくとともに、町民・事業者等に対してリサイクル製品等の導入について啓発を行います。 ○ ごみの持ち帰りの啓発や、不法投棄の監視体制の強化を図り、ポイ捨てや不法投棄などの未然防止に努めます。 ★ 災害時に発生することが考えられる災害廃棄物への対応のため、「災害廃棄物処理計画」の適切な運用に努めます。
<p>2-4-3 地球にやさしいまちづくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民や事業者を対象とした地球温暖化対策に関する知識や理解を深める啓発活動や環境教育に取り組みます。 ○ 企業やボランティア団体等と連携した環境活動を推進します。 ○ 有害物質による水・大気・土壌汚染などの生活公害は、調査、監視等を実施し未然防止に努めます。 ○ 国や富山県のエネルギー施策に関する情報を収集し、必要に応じてエネルギー対策の支援を行い、日常生活や事業活動から生じる温室効果ガス削減に取り組みます。 ★ 再生可能エネルギーの導入支援や、建築物の更新に合わせた省エネルギー化を促進することで、環境負荷の少ないエネルギー環境を整備します。

主な取組

- リサイクル推進事業
- 一般廃棄物等収集・運搬事業
- 一般廃棄物処理事業
- 花と緑の景観づくり事業
- 不法投棄監視事業
- ペレットストーブ導入促進事業



ふれあいガーデン

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- ライフスタイルを見直し、ごみの減量に努めるほか、不法投棄をしないようにします。
- 地球温暖化問題への意識を高め、エコ製品の購入や省エネ行動の実践等、地球にやさしい行動を行います。

【地域・団体・事業者等】

- 地域や学校、職場で地球温暖化問題に関する情報を共有します。

関連する計画・条例等

- 第2次上市町環境基本計画
- 上市町環境基本条例
- 上市町災害廃棄物処理計画



不法投棄等環境パトロール



大岩地区の自然



2-5

地域情報化・情報と魅力の発信



現状と課題

- 令和2年版の情報通信白書では、ウィズコロナ・ポストコロナの時代において、「人の生命保護を前提にサイバー空間とリアル空間とが完全に同期する社会に向かう不可逆的な進化が新たな価値を創出」とされています。デジタル化の波は地方にも急速に押し寄せ、情報技術に対する町民の意識もこれまでとは違ったものに変えていかなければならない重要な変革期であるといえます。
- 移動通信の分野においては、居住地域におけるカバーはほぼ達成しているものの、山間地など非居住地域においては未だに空白地帯が多く残されており、民間事業者と地方自治体とが協力してその解消に努めるためにも、全域での光ファイバの整備が急務となっています。また、スマートフォンなどの携帯端末が普及し、誰もが大容量の情報を取り扱う現代社会にあっては、公共施設等に無線LANアクセスポイントを適切に配置することにより、より安定した通信環境を確保するとともに、ひっ迫する公衆回線の迂回を図ることが可能です。
- 本町では、ケーブルテレビ網を基礎としたイントラネット設備を平成14(2002)年に整備し、庁舎と公民館や公共施設などを光ファイバで結んでいます。このネットワークは、日常業務での連絡手段のほか、災害時において迅速な情報の伝達・集約を行うためには非常に重要なインフラです。しかし、こうした専用線の存在は、近年の情報通信環境にあっては過度な設備と認識される点もあることから、今後更新を行う際にはその役割・在り方について整理・検討した上で、時代に適したものとして整備することが要求されています。
- 本町では、町政運営に関する情報を町民に伝えるため、「広報上市」やホームページなどを通して情報発信を行っていますが、必要な情報を正確に、かつ迅速に伝えるためには、職員の対応だけでなく、メディアミックスなどを十分に考慮し、効率的に行うことが重要です。なお、インターネット上に展開される自治体の情報については、特にフェイクニュースや偽サイトなどといった悪意を持って混乱させる手段に惑わされないような手法を学び、展開するよう留意する必要があります。
- また、行政情報は、幅広く公平に伝達することが基本ですが、SNSやスマートフォンアプリなどを活用し、適切な情報を必要な人に限って発信し、確実に伝えることで、行政サポートをより手厚いものとするのも現代では既に一般的であり、積極的な導入が望まれます。
- こうした情報化の進展に伴い、セキュリティの確保といった問題も発生します。コンピュータウイルスなどのマルウェアを巧みに利用し、大切な個人情報や資産を盗み取ろうとする動きなどが後を絶ちません。町民に対し、情報リテラシーに関する啓発・訓練を適切に行うことで、日常生活を守ること行政の使命です。



ミライの 上市

安全な情報基盤網やコンテンツが充実し、欲しい時に欲しい情報が入手できる環境が整っています。

数値目標

指標	基準値	目標値
広報紙（広報上市）を「毎号必ず読む」町民の割合	48.1%	60%以上
無線LANアクセスポイントの整備数【総合戦略】	2か所	20か所以上 (R3～R7)

施策の内容

<p>2-5-1 情報基盤の整備</p>  <p>にぎわう上市 エ</p> <p>©2012 W.C.F.P</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路や農道・林道などといった非居住エリアでの移動通信のニーズに対し、民間と協力して不感地帯の解消に努めます。 ★ 平常時だけでなく、災害時も重要な通信手段となる無線LANアクセスポイントを公共施設に整備し、快適な情報の入手手段を確保します。
<p>2-5-2 多様なメディアを活用した 情報発信</p>  <p>にぎわう上市 エ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報やホームページ、SNS等の媒体や、PRキャラクター「つるぎくん」、観光大使等を活用しながら、町の取組や計画その他町政にかかる情報を、町内外にわかりやすく透明性を持った形で発信し、説明責任を果たします。 ○ 本町の魅力が伝わる表現により、数多くホームページ等で紹介することで、良好なまちのイメージを確立し、シビックプライドの醸成と関係人口の拡大を図ります。 ★ 時代の要請に対応できるよう、職員の情報発信力向上のための研修実施と、庁内の情報基盤の充実に努めます。
<p>2-5-3 デジタル社会での生活力の 確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★ 児童・生徒や高齢者に対する情報リテラシーを向上させ、急速に進展するデジタル社会に対応できる環境を整えます。 ○ チラシやホームページなどを通じて、インターネット上で発生しているセキュリティインシデント情報などを提供します。

主な取組

- 通信幹線の整備（R5 事業完了）
- 無線LANアクセスポイントの整備
- 移動通信用鉄塔施設の整備推進（R5 事業完了）
- 「上市の魅力」発信事業
- PRキャラクター等の活用推進事業

町民や地域・団体・事業者の取組の例

【町民】

- 情報リテラシーを向上させ、情報サービスを積極的に利活用します。
- まちづくりに関する情報や映像の提供に協力します。

【地域・団体・事業者等】

- 広報紙、インターネットを通じたイベントや上市町の魅力等の情報発信を行います。
- 社会情勢に応じて、オンライン会議等の活動のデジタル化を進めます。



PRキャラクター「つるぎくん」



上市高校生キャスターによる
「チャンネルかみいち」収録の様子